平成２２年度新入職員が１年を振り返りました!!

あっという間の一年でした。つらい事、楽しい事、色々ありましたが、同期や優しい先輩方がいたから乗り越えられたと思います。４月になれば、また新人さんたちが入ってきますが、私も先輩方に支えられたように、後輩たちを少しでも支えてあげられる、先輩の一人になれたらと思います。

入職して１年が経ち、患者さんをはじめ多くのスタッフと関わることで本当に多くの経験をさせていただきました。改めて、この仕事の難しさや理学療法士としての責任感をもって患者さんと接することなど、学生時代の勉強と臨床の違いを感じてきました。今後は、知識・技術の習得は当然のこと、一人一人の患者さんとの出会いを大切にして、どんな状況においても親身になって考えることのできるセラピストを目指し、日々精進していきたいと考えています。

この一年を振り返ると、毎日目の前の患者さまのリハビリをするのがやっとという状態で、先を見通しながらする余裕がありませんでした。忙しい中でも、色々な患者さんに関わることで新しい知識を磨いていく事が出来ればと思います。また、それを還元していくことができればと思います。まだまだ初めてのことがたくさんですがコツコツと経験を積んでいきたいと思います。

入職して、不安や悩みなどたくさんありましたが、周りの先輩方に相談出来たことや、色々と指導していただけたことで、一人ひとりの患者さんに向き合えたと思います。まだまだ、経験が浅いので、日々勉強し患者さんのニーズにあったリハビリを行っていきたいと思います。

入職当初は初めての事ばかりで緊張の連続でしたが、先輩方が丁寧に指導して下さり、ようやく周りの事も少し見ることが出来るようになってきました。まだまだ広い視野で患者さんの生活を考えられていないので、これからもっと頑張っていきたいと思います。

この一年間、毎月症例検討を行ってきて、資料作りなどは大変でしたが、先輩方が優しくアドバイスして下さいますし、色々な考えを知ることができ勉強になりました。先輩方が優しいので、困ったときに相談しやすい環境なのでとてもありがたいです。

指導を経験した
スタッフの感想

4年目にして初めて後輩が入り、指導する立場となりました。自分が新人のころを振り返ってもこの時期に何が出来ていたか、何が出来ているべきなのかが分からず、また成長出来るための指導方法がわからず、結果新人さんにも迷惑をかけてしまったかも知れません。今年の新人さんは多くの研修を乗り越えてこられていますし、2年目になったらもっと自信を持って楽しんで臨床に取り組んでもらえればと思います。

ＳＴ：北川

ＯＴ：川口

一年を通じて数名の患者さんを共診として担当させていただく機会がありました。その中で、患者さんの予後予測や、その方の特徴や困っている事など様々な事を一緒に考えていく中で、私自身たくさんの経験や発見がありました。これからも、共に考え成長していける仲間として協力していければと思います。

ＰＴ：中山

今回、はじめて新人指導に携わったことで「考える」難しさを痛感したように思います。今後も、身体機能だけでなく、患者さんの今後の生活を意識しながら日々の治療に励んでいってもらいたいです。

ＰＴ：浅田

今回初めて新人指導を経験しました。この一年は右も左もわからないまま過ぎてしまったと思います。しかし、新人指導を通して自分のわかっていない事をあらためて気づいたり、逆に教えてもらう事も多かったように思います。

東大阪病院リハビリテーション課　教育体制の特色

①症例ごとに共観者をつける

退院までの計画はもちろん、具体的なリハビリ方法まで患者さんにあった対応を一緒になって考え、進めていきます。

②マンツーマンの指導者がつきます

リハビリ業務全般においてわからないこと、疑問に思ったことがあれば何でも相談できる指導者がつきます。

きめ細かい教育を実践!!

③症例発表

症例発表を通して、学ぶ、気づく機会があり、自分を成長させることができます。